

高等部では、卒業後の社会自立に向けて職業ガイダンスや会社見学会に取り組んでいます。
今号では、その学習の様子を紹介します。

高等部

職業ガイダンス

5月24日（金）、高等部全体の職業教育として職業ガイダンスが実施されました。

今年度もまた、友愛ビルサービス株式会社の富谷茂樹氏を講師にお迎えし、職場でのマナー、仕事への心構えなどについて学びました。

実際に友愛ビルサービスで使用されている「心構えカード」が生徒全員に配付され、正しい順番でファイリングする過程を通し、自分仕様の心構えファイルを作成する意味やそのファイルの活用に分かる心構えを正す効果があることなど、具体的な方法で働くことへの向き合い方を示していただきました。「水となれ」「大切なものは目には見えない」「答えは自分の中にある」などのキーワードも分かりやすく、生徒たちも頷きながら傾聴していました。

書類の左端にパンチをあて、穴をあけてファイルに綴じ込む作業は例年の内容であり、経験年数が長い生徒ほど、上手にできています。社会生活で欠かせない礼儀作法や身の回りの整頓なども、習慣として身に付けられるように周囲の大人が繰り返し伝えていきたいものです。

(文責：伊藤健人)



会社見学会

職場見学を通して「働くこと」への理解を深めることを目的に、5月16日（木）、高等部職業科、高等部専攻科の生徒が株式会社東北フジクラと秋田協同印刷株式会社を見学しました。

株式会社東北フジクラでは、圧力センサや酸素センサなどの精密機器を製造する工程を見学し、その後、会社概要や福利厚生、障がい者がどのような配慮のもとで働いているかなどについて、スライドを見ながら説明を受けました。生徒からは、仕事のやりがいやミスをなくすための方法など、たくさんの質問があり、興味関心の高さが感じられました。会社のスローガンである「全員力・行動力」について、自分自身の日常と比較して自己評価する生徒もいました。

秋田協同印刷株式会社では、大森山動物園からの受注による、レーザーカッターを使ったペーパークリップの製造工程見学や、開ききった状態でも背表紙の形状が維持される特別な製本が可能となる機器の紹介など、新しい技術や業務の説明に集中する姿が見られました。質疑応答では、就労している本校卒業生からのアドバイスもありました。「職場でのスムーズなやりとりのために、自分の障がいについて自分から積極的に周りに伝え、理解してもらうこと」という言葉を受け、今後、自分が就労する先での伝え方を具体的に考える生徒もいました。

今年度は科ごとに分けることなく、全員で2社を見学しました。業務内容は異なりますが、どちらの会社でも「働くこと」の基盤はコミュニケーションであるということが分かり、生徒たちの意識に強く響いたようです。

(文責：伊藤健人)



発行内容・お問い合わせについて

「しんろだより~道~」は、保護者の皆様へ進路に関するたくさんの情報をお伝えしていきます。学校ホームページにも掲載しておりますので、どうぞご覧になってください。

(ホームページURL：<http://kagayaki.akita-pref.ed.jp/chokaku-s/>)

他にも進路に関して知りたい情報や疑問等がございましたら、お気軽に教頭、主事、担任、進路指導部員にお話ください。